

どう解く?



答えのない道德の問題 どう解く?

山崎博司・木村洋・二澤平治仁

どう考えてどう答えたらよいのか難しい問題ばかりを子どもから大人までみんなで考えました。各界からの著名人のいろいろな意見と共に、大人が考える問いかけへの意見が載せられていて、とても考えさせられる本です。(あぶた読書の家所蔵)

読書の家から

あぶた読書の家 (☎ 76-2100)
[時間] 10時～16時20分 [休館日] 木曜日、祝日
みずうみ読書の家 (☎ 75-4702)
[時間] 10時～15時 [休館日] 木曜日、祝日
洞爺総合センター図書室 (☎ 82-5111)
[時間] 9時～16時30分 [休館日] なし

新刊案内

■あぶた読書の家

▲一般▽生きていくあなたへ105歳、どうしても遺したかった言葉(日野原重明)▽がいなもん松浦武四郎一代(河治和香)▽爆身(大沢在昌)▽風は西から(村山由佳)▽送り火(高橋弘希)▽ファーストラヴ(島本理生)▽日傘を差す女(伊集院静)▽赤い風(梶よう子)▽恋の川、春の町(風野真知雄)▽むすびつき(畠中恵)▽はるか(宿野かほる)

こ)▽ほんのにわ(みやざきひろかず)

■みずうみ読書の家

▲一般▽組織犯罪対策部マネロン室 引火点(笹本稜平)▽夏空白花(須賀しのぶ)▽能面検事(中山七里)▲児童書▽本屋さんのルビねこ(野中終/松本圭以子絵)▽星空を届けたい(高橋真理子/早川世詩男絵)

■洞爺総合センター

▲一般▽海のある奈良に死す(有栖川有栖)▽人間の煩惱(佐藤愛子)▲児童書▽大きなボク小さなわたし(たまねぎ)

絵本の玉手箱 10月のおはなし会

■日時 ①10月19日(金)14時～15時30分 ②10月26日(金)14時～16時30分、10月29日(月)、11月5日(月)10時～11時30分
■場所 ①あぶた読書の家②あぶた母と子の館
■問合せ 佐藤(☎ 76-2487)
■ピノキオの会 読み聞かせ
■日時 10月16日(火)、11月9日(金)14時30分～
■場所 あぶた読書の家
■問合せ 松本(☎ 76-2613)

地域おこし協力隊



通信

vol. 7

今月の
リポーター
丹野大樹さん



洞

爺湖町に移り住み2年。やっと気持ちが落ち着き、地に足が付いてきた感じがしています。大地に生かされ、自然と共に生き、食の恵みを実感しながら日々を過ごしています。

以前は東京都に住んでいましたが、いつか田舎暮らしをしたいと思い描いていました。子どもが成長するにつれ、その思いが膨らみ、あるきっかけで移住を決めました。近くのお気に入りの森が消え、巨大な12階建てマンションの建設が始まったことです。

都会で唯一の緑は公園ですが、危ない遊具は撤去、ボールや大きな声禁止など、制約が多くあります。午前はゲートボール、昼はサラリーマンの喫煙所、午後は小学生が遊具を占拠し

てオンラインゲームといった様子でした。小学生は公園から学習塾や習い事へ向かい、酔ったサラリーマンを目のあたりにしながら、夜遅くに帰宅します。自分の子どもに同じような生活をさせたくない気持ちが強まり、教育移住をする決断をしました。

今は洞爺湖の大自然に包まれ、春は花を育て、夏は湖や海遊び、秋は紅葉と大地の恵みを堪能、冬は美しい雪景色や雪遊びと存分に楽しんでいます。

呼ばれるようにやって来たこの洞爺湖。今度は素晴らしい環境へ迎え入れてくれた感謝の思いを残り半年の業務に生かし、これからの仕事や住まいも考え、本格的にこの地に根を下ろしたいと考えています。